



仰 星

校訓
質進

実取

剛創

健造

オンライン型で学ぶ 平和学習

沖縄戦をワークショップで議論し 自分ごととして考える！

戦後76年目を迎える6月23日「慰霊の日」を前に、本校では19日(水)の5、6校時に平和学習を行いました。今回は講師に本校の卒業生で、県内で平和学習に取り組む狩俣日姫(につき)「(株)さびら」さんをお招きしました。狩俣さんはビジネス誌「フォーブスジャパン」の「日本発『世界を変える30歳未満』30人」に選出された今、注目の人物です。

今回は講師と各HRをオンラインで結び、講師や各HRの活動をみんなが見えるような方法で行いました。1部は沖縄戦を日米両軍の視点から概要について学ぶ沖縄戦MAPワーク、2部は沖縄戦中に住民が巻き込まれた出来事をロールプレイ化して戦争体験を学ぶロールプレイワークを行いました。

狩俣さんは各HR内のグループの議論を深めるきっかけをつくるファシリテーターとしての役割を果たしていました。狩俣さん自身、学生時代は「予備知識がないままに平和学習に取り組む」ため「慰霊の日」の平和学習に興味を持てなかったそうです。この高校時代や卒業後、留学した体験の中から平和について見みんなて語り合う場を取り組みたいと考えたそうです。

今回の平和学習は、これまでの沖縄戦の映像を観たり、戦争体験を聞いたり、資料を調べたりするのは違い、沖縄戦を疑似体験し、沖縄戦を自分ごととして考え、みんなで議論し、平和について考え、平和について祈る貴重な時間になったことと思います。

